

もっと長野を！

だから長野で



B



A



C

ごした時間の、いまだ色褪せぬ
 きらめきを、自分の子どもたち
 にも味わってほしかったのです。
 2023年のお正月、ネットで
 フォレストコーポレーション
 の「工房信州の家」が県産材を
 ふんだんに使いながら持続的な
 森づくりに寄与し、地元の職人
 の業も大切に、信州でしか
 できない豊かな暮らしを提案し
 ていると知りました。長野へ恩
 返しするパートナーとしてこれ
 以上望ましい工務店はありません。
 早速問い合わせ、風土と
 の交わりも素材も手仕事も、す
 べて長野にこだわった「オール
 長野」の家づくりが始まりました。

スキーが好きになった
 長野への恩返しだから
 オール長野で家づくりを

長野盆地と北信濃の山並みを見晴らす高台で、清らかな眺望を存分に楽しもうと、リビングも吹き抜けも大窓にして、広大なデッキを据えています。

Aさんは週末や長期休暇を家族や友人と過ごすため、この家をつくりました。特に冬は、家族みんなが大好きなスキーの拠点になります。白馬へも野沢温泉へも志賀高原へも容易にアクセスできるのが自慢です。

ご主人がスキーを初めて体験したのは長野でした。大学のスキー部では八方尾根がホームグラウンドでした。Aさんにとって長野は、スキーを好きになった場所、スキーをずっと好きでいさせてくれた場所なのです。

そんな長野への恩返しに、長野に別荘を建てようとAさんは思い立ちます。別荘をもつプランは以前からありました。やはり子どももの頃、祖父の別荘で過



E



D

D_堂々たる吹き抜けに天井のルーバーが美しいラインをなす。空間構成、それを形づくる素材、デザイン、どれをとっても気品がある。 E_デッキとビットリビングでは、腰掛けたときの目線の高さが違うので、外の景色も変わって見えるし、くつろぎの性質も異なる。 F_その装いは一般住宅のキッチンとは思えないような、特別な人との特別な時間に相応しいあつらえ。



F

空間によく似合います。この家ができて、「長野の家に
行こう！」が家族の週末の合い言葉になりました。スキーは以前よりゆとりをもって、たっぷり楽しめます。たとえスキーに行かなくても、庭での雪遊びに子どもたちは大はしゃぎでした。これから一年を通じて、この家を拠点に、あるいはこの家にながら、もっと長野を身近に感じて、家族は長野を満喫することでしょう。

眺めが格別で、スキー場にも自宅にもアクセス良好な土地が、フォレストコーポレーションの提案で見つかりました。家のデザインは、工房信州の家の長野古牧展示場がベースです。ただし、大人数でもくつろげるというコンセプトはそのままだに眺望を満喫する工夫を凝らしました。ビットリビングから、キッチンから、2階のセカンドリビングから、ウッドデッキから見る景色は少しずつ違って、どれも目を悦ばせてくれます。

工房信州の家に特徴的な土間サロンは設けませんでした。代わりにスキー板やウェア用のストレージをつくり、ガレージ、玄関、リビング、ウッドデッキの動線に組み込みました。

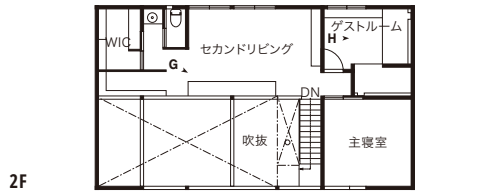
訪ねてきた友人と囲んで一緒に料理ができるよう大きなアイランドキッチンも据えています。その背面、ルーバーをあしらった壁の下には、木曾の家具職人の手による漆を使った和紙を用いています。奥ゆかしいその贅が、住む人の人柄を思わせる寛裕な

スキーもスキー以外にも
長野で暮らしながら
長野を満喫する

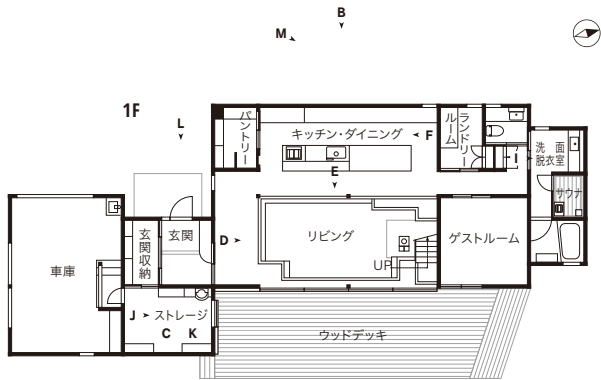


L アプローチではアズキナンやニシキギなどの広葉樹が出迎える。玄関の軒の深さに、この先の空間の特別感を思う。 **M** 黒い外壁にモミジの緑と無垢の木の窓枠が映える。こうした色合い一つにも、暮らしの上質さがほの見える。

PLAN



2F



1F

DATA

敷地面積..... 525.19㎡ (158.55坪)
延床面積..... 218.00㎡ (65.81坪)
1F面積..... 154.02㎡ (46.50坪)
2F面積..... 63.98㎡ (19.32坪)
デッキ面積..... 43.00㎡ (12.98坪)

工法／木造在来軸組工法 基礎／ベタ基礎 構造材／柱・梁：スギ、土台：ヒノキ 断熱材／天井・壁：ビーズ法ポリスチレンフォーム100mm、基礎：押出法ポリスチレンフォームミラフォームラムダ25～50mm 主な外装仕上げ／屋根：ガルバリウム銅板、外壁：ジョリパット・一部スギ板張り 主な内装仕上げ／天井・壁：珪藻土・一部板張り(スギ・カラマツ)、床：無垢材(ヤマザクラ・カラマツ) 開口部／アルミ樹脂製Low-E複層ガラス(アルゴンガス入り) キッチン／クチーナキッチン熱源／IHクッキングヒーター バスルーム／TOTO暖房の種類／薪ストーブ・床暖房・エアコン

Comment

Owner: Aさんご家族

Q1. 家づくりで一番大切にされたことは？

A 大人数でわいわい集まれる憩いの場所。スキーをはじめアクティビティの拠点。

Q2. こうしておいてよかった、と思ったことは？

A ビットリビング。見晴らしのいいセカンドリビング。スキーストレージ。1階のバリアフリーなど。

Q3. このビルダーさんに頼んでよかったことは？

A 信州の風土や素材、地元の職人の仕事を大切にしているところ。要望を汲んだ提案をしてくれたこと。

Builder: 営業担当／岡澤良充さん

Q1. この家のコンセプト、ポイントは？

A 長野で過ごす時間や体験が、家族の宝物としてずっと心に残っていく家。

Q2. この家の見どころを3つに絞るなら。

A 吹き抜けの大空間。眺望を生かした窓計画。ご主人のアイデアによるビットリビング。

Q3. 家づくりで一番大切にしていることは？

A お客様が家づくりを通じて何を実現したいか、その思いに寄り添いながら、実現の方法を提案すること。



G 2階のセカンドリビング。掘りごたつのように床をくり抜いたカウンター席は眺めがバツグンで、家族みんなのお気に入り。 **H** 2段ベッドを2つ組み合わせ、4人が寝られる山小屋風の寝室。こもる感覚がうれしくて、子どもたちは友だちを招待したいと言う。 **I** 洗面の隣にはサウナ室を設けた。知人が訪ねてきてもひと味違うおもてなしができる。 **J** 玄関からもガレージからもアクセスできる位置に、スキー用ストレージを設けた。ウッドデッキへもバリアフリーでつながる。 **K** ストレージではワックスがけなどスキーのメンテナンスも。道具をいつもベストな状態にしてグレンデに行ける。

